



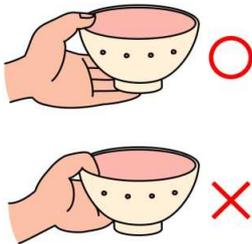
元気に過ごしています

毎日、コロナウイルスに関するニュースが流れ、落ち着かない日々をお過ごしのことと思います。「もし感染してしまったら？家族は？職場の仲間？」考え出すと恐ろしくなりますが、そんな心配をよそに、こどもたちは毎日元気に園生活をおくっています。いつまでこの生活が続くのか見当もつかない中、元気で可愛いこどもたちは本当に癒しです。外出自粛など不便な生活ではありますが、感染予防に努めましょう。今から気温も上がり、雑菌も増えてきます。水筒やお弁当箱のパッキンの殺菌もお願いします。

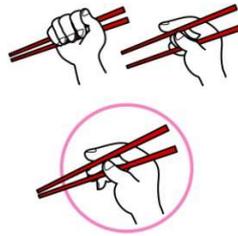
食事マナーはくり返し伝える事が大切です

まずは、おとなが手本を見せるようにします。こどもがきちんと茶碗を持っていない時はその都度、声をかけます。くり返し伝えて、こどものうちから茶碗を上手に持って食べる事身につけられるようにします。箸の持ち方も同様です。

園でも給食中に利き手ではない方の手を下げている子には声かけしています。



お汁碗をこの様に持つ子が多く見られます。



補助ばしを卒業したら、持ち方が崩れる子が多いようです。

夏野菜育っています



4月中旬にきりん組さんは枝豆、うさぎ・りす組さんはトマトを植えました。トマトはプランターなので毎日、こども達が水やりして、大きくなるのを楽しみに待っています。他にも園ではハウスにトマトや胡瓜、茄子、大根、ブロッコリー、ほうれん草など育てているので、給食としてお出ししていきます。

端午の節句



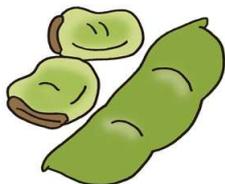
5月5日は端午の節句です。もとは厄を払う行事でしたが、現在はこいのぼりや武者人形を飾り、かしわもちやちまきを食べて男の子の成長を祝います。

夏も近づく八十八夜



八十八夜とは立春から数えて88日目のことで、2020年は5月1日です。春から夏への季節の変わり目で、気候が安定し、本格的な農作業を始める目安の日とされてきました。茶摘みはこの時期に行われ、その年最初に摘んだ「新茶」を飲むとその年は無病息災でいられるという言い伝えがあります。

美味しい旬の食べ物 . . . 「そらまめ」



～空に向かってさやがなる～

そらまめのさやは、空に向かって育つのが特徴です。これが名前の由来になっているといわれています。豆が成長して大きくなると、空に向かっていたさやが、豆の重みで下がってきます。そらまめは鮮度が落ちやすいため、その日のうちに食べるようにします。